

なかしべつ町 社協 だより

『社協だより』は
共同募金の
一部助成を受けて
発行しています。

平成30年
冬号

平成30年1月発行

vol.72

編集発行 / 社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会
〒086-1110 標津郡中標津町西10条南9丁目1番地4
中標津町総合福祉センター（プラット）
Facebook  電話0153-79-1231 FAX0153-79-1233
はじめました <http://www.plat.or.jp>



ふれあいまつり2017 終了後の協力者会議を行いました



通所介護予防事業を利用している皆様の作品です



北海道ココロラボリング様より、
今年もジュースなどを寄贈いただきました



上原芳昭様より、厚生労働大臣表彰受賞にあたり、
ご寄付をいただきました



中標津町老人クラブ連合会より、赤い羽根共同募金の寄付がありました



中標津高校から2名の生徒が、就業体験に来てくれました

社協
って？

しゃ 社会福祉 協 議会の略称です。公共性を持った社会福祉団体です。
誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指しております。



新年のご挨拶

社会福祉法人 中標津町社会福祉協議会

会長 西根 辰 美

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃より中標津町社会福祉協議会の事業推進に対しまして、ご理解とご協力を賜り、役職員一同心より厚くお礼を申し上げます。

さて、中標津町社会福祉協議会は、公益性を保持した地域福祉を推進する信頼される中核組織として、互いに支えあい、笑顔で安心して暮らせる街づくりを基本理念とし、行政と連携のもと今日まで様々な取り組みを進めてまいりました。

一昨年、成年後見制度の利用の促進に関する法律が制定されたことに伴い、当社協に成年後見支援センターを組織化し、市民後見人の養成講座の実施や、その後におけるフォローアップの推進に取り組んでおります。今後は地域支援事業で実施している、福祉サービス利用援助事業や、家族や親族等の支援が受けられなかったり、認知症や知的障がい等により個人の財産や金銭管理が出来ない方の生活を支援するための成年後見事業についても、成年後見支援センターに一元化し取り組んでまいります。

地域支援事業としては、社会福祉活動を推進する団体への助成、ふれあいいきいきサロンの拡大や事業実施への支援、大地震や大雨・豪雪災害に備えた研修や訓練、地域住民や介護従事

者の介護力向上のための研修会の開催、ボランティア活動の活発化など、地域で支えあう基盤づくりの構築に向け積極的に取り組むとともに、相談支援業務としては、福祉資金の貸付と道社協の生活福祉資金の利用相談に組んでまいりました。

介護保険サービス事業では、訪問介護事業、居宅介護支援事業、訪問入浴事業に取り組み、町民皆様の身近な存在として、中立公正なサービスと併せ研修に努め、利用者様に質の高いサービスの提供に努めて来たところでありま

す。しかしながら諸般の事由により、訪問介護、居宅介護支援事業については、平成三十年代から事業の縮小を余儀なくされ、利用者の皆様に多大なご迷惑、ご不便をお掛け致しますが、ご理解を賜りたいと思っております。

介護予防者や、要介護者等の高齢者を地域全体で支援していくための介護予防・日常生活支援総合事業の新たな取組がはじまっておりま

中標津町社会福祉協議会も、唯一の財源であります皆様からの会員会費や寄付金等を最大限有効に活用し、これらの課題解消に向け、より一層取り組んでまいります。

町民皆様には、本年も変わらぬご支援とご指導、また多くの参加を賜りますようお願い申し上げます。この一年がご健勝ご多幸でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

社会福祉法人

中標津町社会福祉協議会

会 長	西 根 辰 美
副 会 長	渡 部 徳 樹
副 会 長	原 野 怡 男
常 務 理 事	中 野 勝 也
理 事	岩 野 美 津 子
理 事	木 村 之 弘
理 事	乾 村 雅 晴
理 事	須 崎 敬 子
理 事	阿 部 敬 子
理 事	菊 池 勤 子
理 事	斉 藤 満 利
監 事	野 毛 徳 利
監 事	岡 谷 正 雄

平成29年度 中標津町社会福祉協議会 会長顕彰受賞者決定

永年にわたり、中標津町の地域福祉の発展に貢献された方々へ感謝を伝える本会会長顕彰の受賞者が決定いたしました。

受賞された皆様には心より感謝とお礼を申し上げます。

<p>感謝 労力的援助</p> <p>東中・まことなかよしサロン あずまにこにこサロン 様 様</p>	<p>感謝 経済的援助</p> <p>半澤利平様</p>	<p>福祉関係団体職員功労表彰</p> <p>社会福祉法人 中標津朋友会</p> <p>阿佐大堀山中 部崎村 内村 洋正久義孝恵 史臣美子和之子 様 様 様 様 様 様</p>	<p>福祉関係団体役員功労表彰</p> <p>いずみクラブ 重松麗子様</p> <p>中標津町身体障がい者福祉協会 中畑保和様</p> <p>特定非営利活動法人 森の家 土山阪 安 稔 幸代 肥本 安 稔 幸代 様 様 様 様 様 様</p>
---	--	---	--

生活福祉資金(教育支援資金)のお知らせ

北海道社会福祉協議会が貸付を行っている教育支援資金は、高等学校、大学、短期大学、高等専門学校就学に際し必要な経費「教育支援費」と入学に際し必要な経費「就学支度費」の2つがあります。低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を対象としており、他制度優先や連帯保証人が必要といった要件がありますので、詳しくは中標津町社会福祉協議会 地域支援業務担当までお早目にご相談ください。

資金種類	使用目的	貸付限度額	据置期間	償還期間	利子
就学支度費	学校教育法に定める学校(高校、高専、短大、大学及び専修学校)に入学する際に必要な経費。 ※入学に必要な経費 ・入学金等で入学時に学校に納入する経費 ・制服、靴、体育着等で学校の指定により入学時に購入するもの ・教科書、参考書等で入学時に一括して購入するもの	500,000円以内	卒業後 6月以内	20年以内	無利子
教育支援費	学校教育法に定める学校(高校、高専、短大、大学及び専修学校)に入学する、または在学している場合に必要な経費。 ※修学に必要な経費 ・授業料、学校納入諸経費、参考書、学用品、交通費	月額35,000円～ 65,000円以内 (学校の種類によって金額がちがいます)			



家族のための在宅介護 講座を開催しました

平成29年10月30日(月)、11月15日(水)、17日(金)の3回にわたり、中標津町総合福祉センタープラットにて、家族のための在宅介護講座を開催しました。

1回目は、株式会社なかしべつ介護センター アズ介護サービス ファミリアの 工藤春樹氏、工藤墨氏をお招きして「介護保険制度における福祉用具と住宅改修」として住宅改修の基本



的な制度の説明、最新の福祉用具を展示、操作しながらの説明を受けました。

介護する側、される側の両者が日々の生活を安楽に過ごせることを目的としているので、小さなことでも良い、悩まず相談して欲しいという言葉に頷いている参加者が多数おり、安心できた様子が見えました。

2回目は、特別養護老人ホーム中標津りんどう園 介護課長 田中秀和氏をお招きして「からだのしくみを学び楽な介護を目指そう」として寝返り、起き上がり、移動や移乗など体の仕組みを理解し、介護者に負担にならない介護方法を講話と実技を交えて学びました。



介護は必要以上には関わらず、出来ることは協力してもらい、筋力の低下を防ぐことによって、お互いにとって負担の無い介護が出来ると話され、参加者は納得されていました。

3回目は、合同会社萩グループ ホーム萩の里 代表 五十嵐強氏をお招きして「自宅でできる認知症予防運動」運動しながら計算

しよう」として自宅で簡単に認知症を予防する身体と頭を同時に使った運動を紹介して頂きました。

講師の2人以上の集団で認知症予防運動を行うことで、より効果が増す。「社会のつながりが予防になる」という言葉に頷いている参加者が多く見られました。



中標津町社協 平成29年度介護職員 キャリアアップ研修を 開催しました

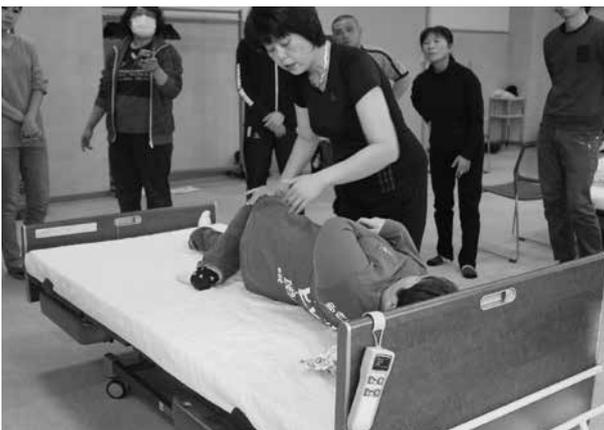
平成29年11月12日(日)中標津町総合福祉センターにて「中標津町社協 平成29年度介護職員キャリアアップ研修」を開催しました。

この研修は、介護従事者不足により、本来業務はもとより、研修時間の確保もままならない現状にある事業所の介護職員の技術や、能力の向上を支援



することにより、介護される方が安心安全に介護サービスが受けられることを目的に開催しており、今年で7年目の開催となりました。

当日は、北海道総合福祉研究センター事務局長池田ひろみ氏を講師に迎え、講義と実技を交えて、介護する側、される側、お互いに無理のない介護を覚えていただきました。体重移動を利用した移乗、起き上がり、歩行を導くような介護を考え、実技を行いました。日々の業務の中で、疑問に感じていた事悩んでいた事を講師と共に考え、アドバイスをして頂き、明日からの介護サービスの提供に役立たせることができると、参加者の皆さんから声が聞かれました。



平成29年度 市民後見人養成講座が 開催されました

中標津町社会福祉協議会が主催する「市民後見人養成講座」が10月24日(火)から始まり、5回の座学と1回の福祉施設見学を実施して11月30日(木)に終了しました。

講座には10名が参加し、成年後見人制度についての基礎知識や、成年後見人制度の概論を学びました。

成年後見人は、判断能力が不十分な人の代わりに福祉サービスの契約や、財産管理を行います。そのうち、養成講座で知識を習得し



た地域住民がその知識を生かして後見を行うのが市民後見人です。

同講座が開かれるのは平成27年度に中標津町が開催した講座に続いて、2回目の開催となります。

講座の講師は、梅本弁護士、猪原弁護士、菅原司法書士、菅谷作業療法士、根室振興局福祉事務所長、町役場の福祉担当、釧路市権利擁護成年後見センター長、東京大学教育学研究科特任専門員などが行い、福祉施設見学ではグループホームや特別養護老人ホーム、地域共同作業所などを見学しました。

市民後見人養成講座は、今後とも開催を予定しています。



災害に強い地域づくり

平成29年10月17日(火)北海道中標津農業高等学校で第7回中農収穫感謝祭での災害時炊き出し体験に協力しました。

当日は、協力支援として生徒の防災意識向上のため、生徒たちが育て収穫した生産物を用いて災害時等に使用するレスキューキットを持ち込み、100人分を想定し、「ご飯、豚汁、カボチャの天ぷら」を生徒たちに作ってもらい災害時の体験をして頂きました。

生徒たちに災害時には、地域の助け合い・支え合いに自分たちも参加する機会となりました。



平成29年度
**地域福祉講演会を
開催します**

平成30年1月27日(土)13:00より、中標津経済センターなかまっぷにて「みんなの力で地域を支え合う」と題して地域福祉講演会を開催します。

基調講演「人が繋ぐ地域の助け合い～平成28年度清水町の大雨災害からみえたこれからの地域づくり～」と題し、清水町社会福祉協議会 総務係長 會田 豊氏を迎え、平成28年度に起きた台風10号の際の、清水町社会福祉協議会における取り組みを交えながら、災害ボランティアセンターの運営や支援活動、この大きな災害から見た行政の役割、地域住民の活動、予期せぬ災害に対する地域づくりの重要性を考える事を目的に行います。地域住民の方であればどなたでも参加できますが、参加申込書が必要となります。参加申込等のお問い合わせは、中標津町社会福祉協議会 地域支援業務担当までご連絡下さい。

ボラセン情報

中標津町社協ボランティアセンター
からのお知らせ



平成
29年度

中標津町社協 ボランティア交流会を開催しました

平成29年11月19日(日)平成29年度中標津町社協ボランティア交流会～「DOはぐ」から学ぶ地域の助け合い～を開催しました。今回は中標津町役場 総務課 防災係 上田 龍氏が講師で、「DOはぐ」避難所運営ゲームを行い、参加された38名には災害時、要援護者となる方々への迅速な対応を学んでいただき、災害時におけるボランティア活動に取り組む人づくりや地域の支え合いについて考える良い機会とすることが出来ました。



ワンポイントアドバイス

冬の脱水に注意しましょう！

体の中の水分が足りなくなる脱水は夏に多く注意喚起がされますが、高齢者は冬にも脱水になりやすいことをご存知ですか？脱水状態は深刻化すると生命に関わります。冬の脱水を防ぎましょう。

冬に脱水になりやすい理由

- ①屋外だけでなく、室内も空気が乾燥していて水分を奪われる
- ②暑い夏に比べて摂る水分量が少ない

高齢者が脱水になりやすい理由

- ①体の中で多くの水分が蓄えられる筋肉量が少ない
- ②脳の口渴中枢の働きが低下し、のどの渇きを自覚しにくい
- ③病気の治療で、血圧を下げたり心臓の負担を減らす目的で利尿剤を使っていて影響を受けていることがある
- ④何度もトイレに行くのを嫌ったり介護者に気を使ったりして、水分を控えている



脱水を防ぐ水分の摂り方の工夫

- ①1回につきコップ1杯程度(150～200ミリリットル)の常温の水分を摂りましょう
- 1回にたくさん飲んだり、冷たいものを飲むとトイレが近くなりやすい
- ②起床時、午前10時、入浴前後、就寝時など8回くらいに分けて摂りましょう
回数を分けることで1回分の量が少なくなり喉が渇いていなくてものみやすい
- ③飲み物で摂りにくいときは果物、ゼリーなどを活用しましょう
水やお茶をあまり飲まない人には水分の多いもので代替にする





赤い羽根共同募金



平成29年10月1日(日)中標津町総合福祉センタープラットにおいて、赤い羽根共同募金出発式を行いました。その後、町内の大型店4ヶ所で街頭募金を実施しました。

中標津空港で行われた、空の第一便セレモニーでは、ANAグループ客室乗務員より、赤い羽根と厚生労働大臣、中央共同募金会長のメッセージが伝達されました。

平成29年度の募金結果につきましては、後日改めてお知らせさせていただきます。



募金運動にご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。



中標津町老人クラブ連合会

中標津町には21の単位老人クラブがあり様々な活動をしています。老人クラブに加入して、**健康づくり、生きがいくくり、仲間づくり、地域づくり**を一緒にしませんか？



芸能発表会

平成29年9月21日(木)中標津町総合文化会館しるべつとにて、第39回中標津町老人親睦芸能発表会を開催しました。(出演者290名/来場者630名)



交流研修会

平成29年10月31日(火)~11月1日(水)の1泊2日で中標津町老人クラブ連合会会員交流研修会を、知床第一ホテルを会場に実施し、会員交流で活用できるレクリエーションを学びました。



あたたかい真心をありがとうございます



香典返しにかえて

大澤 利恵子 様	山田 美枝子 様	加藤 忠博 様	東海 清子 様
小梨 吉子 様	久我 隆男 様	渡邊 節子 様	吉川 賢一郎 様
青木 克己 様	中條 徹志 様	鈴木 とよき 様	福村 紀美子 様
伊藤 久子 様	木戸 悦子 様	松岡 晴美 様	酒井 拓子 様
渡邊 けい子 様	藪田 貴英 様	今井 照男 様	宗形 敏夫 様
松崎 孝憲 様	日下 ムネ子 様	徳永 憲之 様	栗栖 栄二 様
阿部 昇 様	飯野 京子 様	石邑 勇 様	須田 守・瑠美子 様
新里 千代美 様	笠原 康博 様	小林 トミ子 様	石橋 喜作 様

平成29年11月30日分まで掲載

収集ボランティアにご協力感謝いたします



リングプル・使用済み切手・書き損じハガキ・テレフォンカード・ベルマーク

越坂 ひとみ 様	伊藤 こあ 様	石井 晶恵 様	山本 智也 様
郷 満子 様	平山 姫奈 様	藤田 純夫 様	館山 度子 様
犬飼 まち子 様	矢萩 義江 様	天口 信子 様	村上 恵子 様
鎌田 陽向 様	渡邊 節子 様	前田結衣・琉斗 様	長瀬 つたえ 様
森井 禮子 様	富樫 幸子 様	伊藤 千代子 様	渡辺 けい子 様
近藤 小夜子 様	佐藤 政子 様	須田 フサ子 様	目黒 忍 様
木庭 旬子 様	村上 桃花 様	テリー 山本 様	佐野 美羽 様

睦町内会 様
 俵橋老人クラブ 様
 第一宮下町内会 様
 養老牛天寿会 様
 旭悠遊クラブ 様
 小針土建株式会社 様
 特別養護老人ホーム中標津りんどう園 様
 企業組合くればす 様
 (株)大地ペットショップチワワン 様
 中標津消防団第1分団 様
 住友生命中標津中央支部 様
 中標津訪問看護ステーション 様
 中標津町更生保護女性会 様
 かじぬまクリーニング 様
 株式会社三和設備工業 様
 中標津東九条郵便局 様
 中標津町消費者協会 様
 桜ヶ丘楽寿クラブ 様
 明生いきいきクラブ 様
 中標津脳神経外科 様

平成29年11月30日分まで掲載



10月17日、東中・まことなかよしサロンで路線バス体験乗車会が開かれました。約1時間バスに揺られ、町内の景色を楽しみながら、バスの利便性を改めて知る機会となりました。

★お知らせ★

中標津町社会福祉協議会では年4回（4月・7月・10月・1月）社協だよりを発行しています。ホームページは下記URLまでアクセスしてどうぞご覧ください。

<http://www.plat.or.jp>